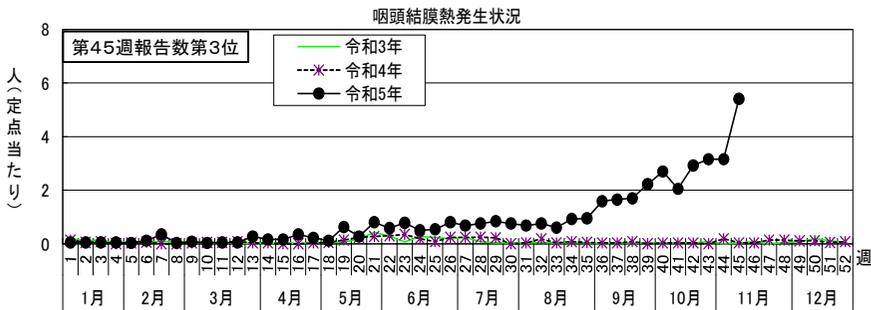
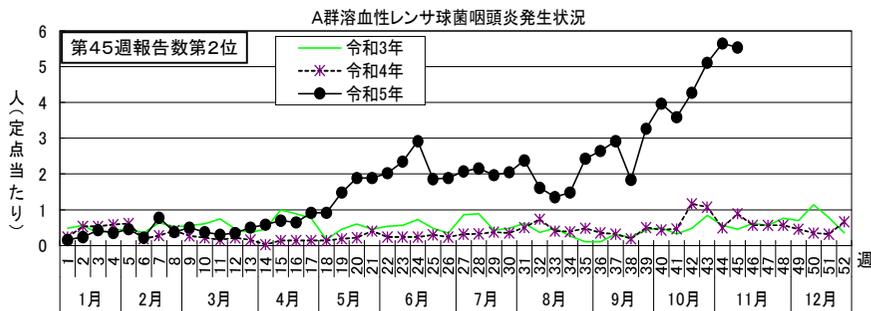
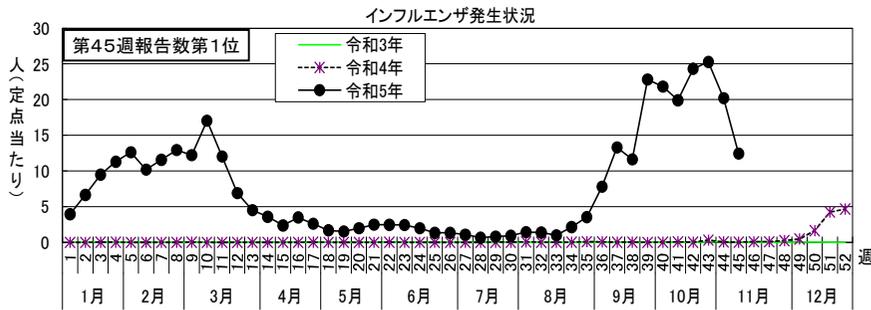


# 今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和5年11月6日（月）～令和5年11月12日（日）〔令和5年第45週〕の感染症発生状況

第45週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) インフルエンザ 2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3) 咽頭結膜熱でした。インフルエンザの定点当たり患者報告数は12.43人と前週（20.21人）から減少しましたが、例年よりかなり高いレベルで推移しています。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は5.54人と前週（5.65人）から横ばいで、例年よりかなり高いレベルで推移しています。咽頭結膜熱の定点当たり患者報告数は5.41人と前週（3.16人）から増加し、例年よりかなり高いレベルで推移しています。

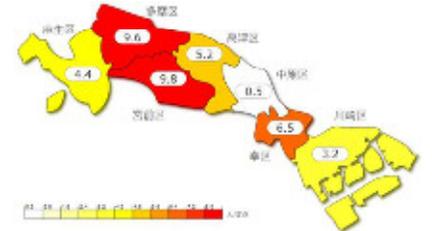


## A群溶血性レンサ球菌咽頭炎～突然の発熱に御注意を～

川崎市におけるA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は、令和5年第45週（11月6日～12日）に5.54人となりました。新型コロナウイルス感染症の流行開始以降、大幅に報告数が減少していましたが、今年は流行前に戻りつつあり、現在、宮前区では9.83人、多摩区では9.60人と流行発生警報基準値（定点当たり報告数8.00人）を超えています。

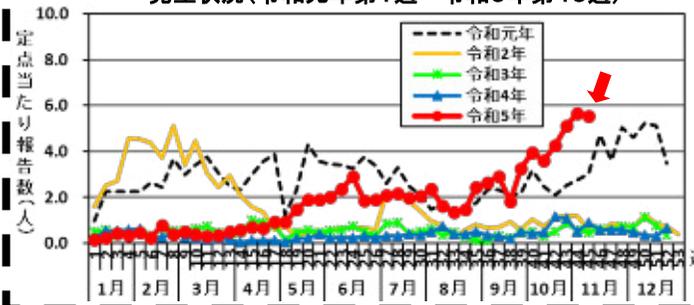
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、突然の発熱や全身倦怠感、咽頭痛等で発症します。通常予後は良好ですが、急性糸球体腎炎等の合併症を引き起こすこともあります。初期症状ではインフルエンザや咽頭結膜熱等と区別が難しいため、突然の発熱等の症状が現れた場合は、医療機関に御相談ください。

川崎市におけるA群溶血性レンサ球菌咽頭炎分布マップ（令和5年第45週）



川崎市感染症情報発信システム（KIDSS）

川崎市におけるA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の発生状況（令和元年第1週～令和5年第45週）



### 合併症に御注意ください！

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、リウマチ熱、急性糸球体腎炎等の合併症を引き起こすことがあります。合併症の予防のため、発症初期から適切に抗菌薬を使用し、症状改善後も、医師の指示に従って服用することが大切です。

